



大垣照子 議員

住民サイドに立った事業を

町長 町の将来のために取り組んでいるつもりです



問 町長は、就任後三年間に、馬木・八川・横田幼児園の新築、各地区幼稚園の整備、鬼の舌震の吊り橋とバリアフリーの遊歩道整備、今後は、1億円余で石像モニュメントの建設も計画されている。これ等は、起債発行（借入金）の事業だが、竣工総額と返済について明らかにされたい。

答 23年度末の総事業費は、22億4千万円。その内21億2千500万円が過疎債や辺地債で、返済の2〜3割分は毎年約4千700万円です。約十年間の返済額は、

利息も含めら5億円余と思っています。

問 鬼の舌震は、入園料を取らないとのことだが、返済原資をどこに求めるのか。

答 ここは、国指定の名勝特別天然記念物でもあり、料金徴収は困難。今後は、利用者の方に維持管理経費等の浄財を募ることも検討したい。一般財源での償還であり、多くなれば結構な金額に。町民の方に心配なきような財政運営を行いたい。

問 事業実施で最も大事な事は、町民の皆さんへのより大きなメリット。負担のみ負わせ、住民利用が少ないところに手を掛ける事をどう考えるか。

答 町の将来のために取り組んでいるつもり。観光客の入り込み数による経済効果について、今後、チェックが必要と思っています。

が出る仕掛けが必要。町長は、どの様な絵を描いているのか。

答 魅力があり記念になる奥出雲のお土産の開発を、商工会の方々と議論し検討したい。

問 住民サイドに立った公共事業を考えることが必要。町内の生活道路には、劣悪な路面や狭隘で通行に危険が伴う道路がまだまだ多くある。住民の不便や苦勞を解消する事業実施が最優先では。

答 道路関係は、各地区から多くの要望があり、いい財源がつけば一つずつ片付けながら、次の改修計画の準備をしたい。
*危険箇所が多くあるところから、優先的に整備を。また、大規模公共事業実施に当たっては、本日提出のような資料を、今後提出されたい。

度には4件、23年度には3件の相談があり、延べ十数件。相談があれば、県の配偶者暴力相談支援センターや県の場合は、女性相談センターへ通報し、連携支援に当たります。

問 町長は、これ等についてどの様にお考えか。

答 一番根この問題は、みんながしっかりと人権意識を持つこと。お互いの人権を尊重し合い、言動で相手を傷つけない取り組みを断続的にやる必要がある。教育委員会とも連携し、今後も積極的にやっつけていきたい。

問 パワハラ、セクハラ、DVは、強い影響力を持つ人が弱い立場の人に行う暴力行為。小さい時から教育が大事だが、学校教育の中ではどうなっているのか。

答 安部教育長
小さい時から人権意識を育てることが大事。道徳の時間や同和教育の中で小学生からしっかりやっっており、それぞれ人権意識を身につけさせ、適切な行動が取れるようにしていきたい。